

# 第69回 入学式

# 紫藤通信



四月七日、暖かな春の訪れとともに緊張した面持ちの新入生、三三三名を迎えて第六十九回山村国際高等学校入学式が挙行された。

入学許可では、緊張の中にも高校三年間への力強い意欲の感じられる新入生の元気な返事が例年にも増して会場に響いた。校長先生からは本校での生活を充実するために心掛けてほしいこととして「目標のある生活を送ること」「よき友を得ること」「思いやりの心を持つこと」の

三つ心掛けが話された。理事長先生や後援会長からの励ましの言葉にも新入生はしっかりと耳を傾け、最後は新入生代表の根本佳奈（和光第二中）から感謝の言葉と高校生活への決意の言葉で式が締めくくられた。

新入生には目標を持ち、実現していくためにこれから出会う仲間と切磋琢磨しながら山村国際生として充実した高校生活を送ってほしい。

発行所  
山村国際高等学校  
坂戸市千代田1-2-23  
☎ 049-281-0221

印刷所  
有限会社 須賀印刷

http://www.yamamura  
kokusai.ed.jp

## 新入生へのメッセージ 生徒会長 吉田 凜華

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。期待や不安などの気持ちを抱きながら迎えた高校の入学式だったと思います。数カ月経った今、学校生活やクラスに慣れることができてきた頃でしょうか。

三年間の高校生活、毎年行われる体育祭や文化祭、球技大会、また、二年生の時には修学旅行などといった学校行事があります。そのような行事でクラスが一致団結し、絆が深まればとても良い思い出になることだと思います。学校生活には、勉強と部活動があります。それぞれ目標を持ち、一生懸命に努力して取り組もうと思っている人もいます。あつという間に感じてしまう三年間、何か一つでも夢中になれるのを見つけて充実できた！という高校生活を送ってください。

皆さんが充実した高校生活を過ごせるよう応援しています。

## 蝋螂

「権威への抵抗」、江戸時代を通じてこの主題を体現した作品で最も親しまれてきたのは、『仮名手本忠臣蔵』（七四八年初演）であろう。元禄十四年（一七〇一年）に起きた赤穂事件を題材にした、二代目竹田出雲ら三名の合作による人形浄瑠璃及び歌舞伎の演目で、興行して不入りのないことから、芝居の独歩湯（どくじんとう）起死回生の妙薬と称せられて今日まで繰り返し演じられている。この作品は、主君の仇討ちという内容は勿論であるが、作品の存在自体が江戸幕府への反抗を秘めていると言える。当時は徳川幕府の元で起こった事件を芝居や読み物の題材にすることは禁じられており、作者たちは舞台を足利幕府の時代に置き換え、史実の浅野内匠頭は塩谷判官、吉良上野介は高師直、大石内蔵助は大星由良之助という役名で演じられた。しかし観客たちは時代物とは捉えず、現実の江戸の話として楽しんでいたのである。

第二次大戦後、日本を占領統治したGHQにより、忠義は愛国、軍国主義につながるとされ、『忠臣蔵』は上演を禁じられた。昭和二十二年にその禁は解かれ、現在に至っている。



# 新校長紹介



校長  
中山 達朗

四月一日付で山田良秋前校長の後任として着任しました中山達朗と申します。

昨年三月三十一日付をもちまして、県立上尾南高等学校の校長を退職し、その後一年間県立鴻巣高等学校の参与として勤務しました。

この度、伝統と光輝ある山村国際高等学校より御縁を賜りお世話になることとなりました。微力ながら、誠心誠意頑張る所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

## 経歴

高校の保健体育の教員になりたいという夢を叶え、昭和五十五年(一九八〇)県立越生高校定時制課程の教諭としてスタートしました。

当時の定時制の生徒は、中学校卒業後高校へ進学せずに働く生徒や全日制の学校を事情があつて退学してしまつた生徒などが多く通つていました。また、埼玉医大付属病院に勤務する地方出身の生徒もおりました。

年齢の高い方も在籍し、そういった方からは、教えるというより学ぶことが多かったと記憶しております。

そこで三年勤務した後、県立滑川高校(現滑川総合高校)に異動し、教員になつた目的の一つである部活動指導に没頭しました。創部四年目の野球部をもう一人の顧問とともに二人三脚で指導にあたり、厳しい練習を課した日々でした。

当時の練習は、まだまだ根性論が優先されていた時でした。練習はすれども、なかなか結果を出せなかつた草創期。創部十年目を迎えた秋季県大会で初のベスト8進出など、良き生徒・教職員に支えられ十二年間の勤務を経て、母校松山高校に異動し、引き続き甲子園を目指しての日々を送りました。

母校を率いて四年目の夏、甲子園をかけた大一番で前任の滑川高校との直接対決に敗れ、滑川高校が甲子園初出場を果たした時は、何とも言いようのない複雑な気持ちに駆られました。松山高校における指導は、伝統校としての期待の大きさに潰されそうになつたこともありましたが、その重圧の中で指導できたことは、貴重な体験であり、今となつては良き財産です。

その後は、県教育局等で指導主事や県立高校五校で教頭・校長・参与などの管理職を経験しました。

## 趣味

現在は埼玉県ソフトボール協会登録のクラブチームに所属し各種大会に出場しています。

この間、監督・選手として全国大会へ三回、関東大会へ五回出場し、平成二十六年の全国大会では第三位となるなど、多くの仲間と全国優勝を目標に活動しています。

## 本校の印象

多くの生徒が学習活動は勿論のこと、部活動・生徒会活動・ボランティア活動に積極的に真面目に取り組んでいると思います。

そして、その活動を教職員の方々がしっかりと支援しているバランスの取れた学校です。

## 期待する生徒像・展望

自分の目標実現に向け、粘り強く、本気で取り組んでほしいと思います。

生徒の皆さんがもつ能力は無限です。誰もが素質の差はありますが「素質の差は小さく、努力の差は大きい」と言われるように、努力こそが大切です。

努力により、自己実現を果たし、社会に貢献できる人として、大きく成長してください。



# 新任紹介

高校生活は一度きり

英語科 白石 紗彩

今年度より、一年四・五組の副担任を担当させていただきました。教科は英語を担当しています。今年の三月に大学を卒業し、四月から山村国際高校でお世話になっております。生徒の皆さんと関われる毎日はとても新鮮で、皆さんやご指導いただいている先生方より日々学ばせていただいております。

皆さんも多くのことを学ぶ日々ではあると思いますが、学んだものは実生活で活用できた時が一番大きな喜びになると思いますのでぜひ、学んだ英語を意識的に使ったり、読んでみたりしてみてください！

試行錯誤を繰り返す毎日ですが、皆さんにとって一度きりの高校生活が豊かな時間になるよう皆さんと共に成長し続けたいと思います。よろしくお願います。

## はじめまして

保健体育科 長池 貴哉

はじめまして。今年度より山村国際高等学校で保健体育を担当させていただきます。長池貴哉です。

驚く生徒がたくさんいると思いますが、実は埼玉県出身ではなく静岡県出身です。大学から埼玉県にお世話になりました。すつかり埼玉県民です。

私は、小学二年生から野球をはじめ、大学四年生まで野球を

続けてきました。高校の三年間も野球に捧げました。今の私があるのは野球を通して多くのことを学べたおかげだと思っています。

生徒の皆さんも打ち込めるものを見つけ、多くのことを学び、成長していつてほしいと思います。私も、皆さんの成長を少しでもサポートすることができるよう努力していきたいと思っています。

## おはようございます

数学科 長嶋 由香里

本年度よりお世話になります。二年二・三組の副担任、放送部顧問を担当することになりました。数学は「嫌い・要らない」と避けてしまいう生徒も多いですが、解けた時の喜び・分かったときの達成感を感じると、「好き」になってしまいう魅力の教科です。この魅力を一人でも多くの生徒に伝えたいと思います。

また、私は色々な学校・職業を経験しているのです。将来の進路を決める際にも皆さんの役に立つようなアドバイスが出来るかと考えています。

最後に、生徒の皆さんとともに成長し、充実した高校生活を送れるようサポートをさせていただきます。よろしくお願いたします。

## よろしくお願いたします！

社会科 大川 裕里香

今年度より二年四組と五組の副担任、部活動はバレー部を受け持つことになりました。大川裕里香と申します。授業

は二年生の世界史・社会演習、三年生の日本史を担当しています。社会科日は覚えることが多くて苦手だという言葉をよく耳にします。しかし、きちんと背景や流れを意識して勉強するととても面白い科目です。また、日本史・世界史・地理・公民分野、すべての科目が繋がるところも魅力です。そんな「点」ではなく「線」で繋がる社会の授業を目標にしていきたいです。教員としては未熟ですが、皆さんが有意義な高校生活を送れるように、私自身も努力し成長していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

## Get over it!

英語科 野澤 滯

今年度から英語科でお世話になっております。今春三月に大学を卒業し、社会人としても教師としても一年目ということでも戸惑いも多いですが、生徒にたくさんの元気、先生方から熱いご指導をいただき、日々勉強させていたただいております。

私自身も学生時代を過ごし、多くの葛藤や苦闘を経験しました。それでも毎日笑って元気に過ごしていたのは、母の存在があったからです。悪い点数のテストを持ち帰った日も、部活で帰ると母の温かい手が私の頬を包み込むのです。(その後たつぷり叱られます)生徒の心の拠り所になれるよう努力し、たった一度の高校生活が一生の宝物になるよう尽力してまいります。よろしくお願致します。

# 教育実習を終えて

明星大学

前寺 和樹

教育実習を終えて、三週間という期間は長いようで短い期間であった。この三週間でも多くのことを学んだが、その中でも授業をすることの難しさが印象に残っている。集団での授業をすることが初めてであつたのだが、考えなければならぬ点が多くあり、想像以上に大変であつた。特に個人的に難しかったのは時間配分についてであつた。授業前に計画は立てていくが、自分の思った通りにはなかなか進行させることができず、苦戦したのを覚えている。

また、特別活動である体育祭では、普段の生活では見られない生徒の生き生きとした様子を見ることができた。今回は残念ながら途中で中止となつてしまつたが、生徒の頑張っている様子を見ることができて、こちらも元気をもらえた。海外ではそもそも体育祭がない学校もあるので、その点は日本の学校の良いところであると思つた。

三週間という短い期間ではあつたが、様々な経験をすることができたので、この経験を次に活かしていきたい。

東京情報大学

酒巻 大輝

教育実習を終えてまず、教育実習を受け入れてくださったり体験の場を提供してくださつた母校や学校の先生、生徒の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

二週間という短い期間でしたが教員という立場で生徒と接すること、実際に教壇に立ち授業を行うことの難しさなどすばらしさなど普段の勉強だけでは決して学ぶことのできない貴重な体験をさせて頂きました。

また、高校時代に大変お世話になつた先生方の授業を受けることができて、生徒という立場からではなく違う観点から授業が見えるようになったのは私自身成長した部分だと感じました。体育祭など行事にも参加でき、三年生のダンスなど私自身懐かしいと思える部分もたくさんありとても充実した教育実習だったと感じております。

二週間の教育実習を無事終えることができましたのは、先生方からのご指導や生徒の皆さんのおかげだと感謝しております。この実習での経験を活かし憧れの先生方と同じ教壇に立てるよう日々頑張つていきたいと思つています。本当にありがとうございました。

# 令和元年度体育祭



天候が心配される中、六月七日金曜日に予定通り体育祭が実施されました。前日からの準備も体育委員を中心に各先生方のご協力もあり、無事に終えて迎えた体育祭でした。予定通り開会式を実施し競技が開始されました。男子の二百メートル走からのスタートでした。順調に競技が進んでいく中で、ポツリポツリと雨が降り出し、続行が危ぶまれました。しかし、生徒の頑張りや声援の中何とか中断せずに競技は進んでいきました。しかし、四種目を迎えたところで雨脚が強くな

り、一時競技が中断しました。協議した結果、五種目を以降を打ち切り、最後の種目として三年生のダンスを披露しての体育祭終了となりました。

競技に出場した選手の頑張り、三年生の一致団結したダンスは、保護者をはじめ多くの声援を受けて大変盛り上がりました。特に三年生のダンスは、集中してしっかりとした演技ができていたと思います。

残念だったのが天候に恵まれなかったことだと思えます。前日までの準備、当日の進行等、多くの先生方と体育委員を中心とする生徒の協力があつてのことだと考えており、感謝いたします。最後に体育祭の総合結果を報告させていただきます。ありがとうございます。

| 男子総合結果 |      |  | 女子総合結果 |      |  |
|--------|------|--|--------|------|--|
| 一位     | 二年八組 |  | 一位     | 三年一組 |  |
| 二位     | 三年五組 |  | 二位     | 三年二組 |  |
| 三位     | 一年二組 |  | 三位     | 三年八組 |  |
|        | 一年七組 |  |        |      |  |

## 部活動紹介

### 運動部

#### サッカー部

常に挑戦者の気持ちになり、社会で活躍できる豊かな人間性を身につけることを目標としています。チームとしては基礎・基本を徹底し、新人戦、総体、選手権で過去最高の県ベスト16以上を目指し日々練習に励んでいます。他にも各カテゴリーでリーグ戦に参加しています。

#### ダンス部

ダンス部は夏の大会に向け、新しい作品に取り組んでいます。タイトルは「奏狂(シンフォニー)」。

六月に行われた第七回全国高等学校ダンス部選手権の東京予選大会では、二位通過で全国大会への切符を手にする事ができました。八月には日本高校ダンス部選手権大会の関東予選、全国大会が行われます。見ている方の心に届く演技を目指し、日々の練習に精進します。応援宜しくお願いします。

#### バントントワーリング部

バントントワーリング部は、三年生六人、二年生八人、一年生三名、計十七名で活動しています。地域の活動はもちろん、各種大会に出場しています。

夏の佐賀総文祭では、二年連続受賞させて頂いているグットパレード賞、高文連大会では、総合優勝、全国大会では金賞を目標

に日々精進しています。

#### バレーボール部

五月末に開催されたインターハイ西部支部予選に出場。代表決定戦で所沢中央高校と対戦し、最終セットは23-25と、格上チーム相手に大健闘であったが、セットカウント1-2で敗れ、県大会出場は果たせなかった。この試合で引退を迎えた三年生には、これまで一人一人が積み上げた努力に最大級の賛辞を送るとともに、今後の活躍に期待したい。お疲れさまでした。

#### 野球部

野球部は、現在、三年生二十五名、二年生二十一名、一年生二十五名で活動しています。

昨秋、今春と地区大会で悔しい思いをしました。その悔しさをバネに三年生は、後輩たちをまとめ、夏の大会へ向けて日々練習しています。二十五名の新人部員の入部により、上級生に刺激を与え、より一層活気ある雰囲気の中で、切磋琢磨しています。

#### 男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は六月から新チームとして始動し、現在二年生九人、一年生十二人、マネージャー一人の計二十二人で活動しています。

「シード権の獲得」県大会出場を目標として、現在のところ基礎的な練習から組織的な練習まで、幅広く行っています。

百戦錬磨の大家コーチ指導のもと、明るく元気に頑張っています。ので、応援よろしくお願いします。

#### 女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は二年生八人、そして新たに一年生六人を計十九人で活動しています。昨年度は三年連続県大会出場を果たし、さらに創部初となる県大会で一勝することができました。

今年度も県大会出場を最低目標とし、二回でも多く公式戦で試合ができるよう、日々練習に取り組みんでいます。練習ではつらい時もありますがチーム一丸となり毎日頑張っています。

#### 男子ソフトテニス部

男子ソフトテニス部は県大会出場を目標に技術練習と基礎体力向上を目的としたトレーニングを日々行っています。また、団体戦の出場権をかけて定期的な部内でのランキング戦を行っています。

プレーヤーとしての成長はもちろんのこと人間としても成長することができるよう頑張っています。

応援よろしくお願いします。

#### 女子ソフトテニス部

女子ソフトテニス部は、部員十六名で県大会に向けて基礎を中心とした練習に取り組んでいます。常に自分のプレイと向き合い、自ら課題に気づけるよう意識付けをしています。また、挨拶・礼儀にも常に意識し、社会に出る人間として成長できるよう日々活動しています。



フットサル部

私たちフットサル部は火・水・土の週三日間活動しており、二年生十八名、一年生二十五名の四十三名が所属しています。初心者から経験者まで幅広い層が日々練習をしています。今年度は、深谷で行われるリーグ戦で良い結果を残せるように、日々練習に励んでいきたいと思っ

剣道部

剣道部は一年生七名の入部で久しぶりに二十名を超える部員数になりました。関東大会・インターハイ出場を目指し、日々稽古に励んでいます。夏には玉置旗や山村学園高校との強化合宿を予定しています。厳しい夏を乗り越えて、秋の新人戦に繋がりたいです。

居合道部

居合道は刀を用いて心身を錬磨する武道です。現在男女二十名で活動しています。古流は「夢想神伝流」という流派を学んでいます。先人が考えた無駄のない動きを修得できるように稽古に臨んでいます。

陸上競技部

陸上競技部は、「一秒懸命」を目標に掲げ、自己記録の更新・一つでも上のステータジで戦うため日々厳しい練習に取り組んでいます。一人では乗り越えられないことも、仲間と切磋琢磨し、励まし合いながら乗り越え、頑張っています。また、競技だけではなく

学業を怠らなずに取り組み、文武両道の学校生活を送ることができ選手を目指しています。

文化部

調理部

調理部です。女子ばかりのイメージですが、男子も入部しています。これからでも一緒に活動に参加してみませんか。お待ちしています。

活動日 水曜日

活動内容 月に二回の実習

- ・味彩コンテスト (お弁当コンクール)
- ・ケーキコンテスト
- ・クリスマススクッキー作り (施設へのプレゼント)

活動場所 A館三階 調理室  
三年間の高校生活を調理部で頑張ろう。

被服部

被服部は洋裁を中心に、自分の作品を製作しています。製図から始め、裁断、縫製の工程を経て完成させます。作品製作は「スカート」「ブラウス」「ワンピース」「応用」という順番で実施しています。

もの作りの好きな方には楽しい部活です。

茶道部

本校の茶道部は裏千家の茶道を通して「文化祭」や「坂戸市くらし展」でのお茶会を催しています。男女共に活動する部員は勉強と部活動の両立を目指していま

華道部

す。先輩・後輩の仲が大変よく、週二回月曜日と金曜日、楽しくお手舞のお稽古をおこなっています。

華道部は小原流の菅原翠清先生のご指導の下、一年生から三年生まで九名で活動しています。主な活動は普段は学校で生け花の花型やお花のことを学んでおり、紫藤祭で個人の作品の他、部員全員

の合作も発表しています。また、年に一回「小原流 学生いけばな競技会」に参加したり、年に二、三回は施設を訪問して入居者の皆様にフラワーアレンジメントを指導したりしています。校外での活動は学校生活では経験できないことを経験することができ良い機会になっています。

軽音部

部員が多く放課後の時間が限られる中、各グループで練習する曲を決めて約一、二ヶ月での完成を目安として日々練習を行っています。一年生は文化祭まで主に基礎練習、二、三年生は文化祭や送別会での発表、他校との合同ライブ、上級学校や自治体等からの依頼による部外演奏、各種大会などに向けて練習し、公式大会では上位入賞を目指して頑張っています。

写真部

写真部の主な活動内容は、体育祭等の学校行事での記録撮影やオープンキャンパスのイベント実施、文化祭での写真展開催、私

学文化祭への参加に加えて、テーマを決めての作品作りなどです。各種コンテストなどにも積極的に参加していきます。活動日はグループ毎に曜日を決めて週一回、水曜除く、活動場所は二、一教室です。

よさこい部

男子三名、女子三十三名の計三十六名で週五日活動しています。祭に参加するよさこいの団体は大人の方ばかりなので踊りの技術はもちろんのこと、挨拶等の礼儀やマナーを身につけるよう心掛けています。上下関係を築きつつも、時には先輩後輩の枠をこえて話をしたり笑い合ったりと仲の良い部活動です。初心者がんばり、部員一人ひとりが上級生が丁寧に教えてくれるため、皆楽しく活動しています。

生物部

生物部では抗菌と腸内フローラの研究をしている。研究成果は、『高校生バイオサミット』や『ジュニア農芸化学会』、また埼玉大や千葉大でも発表をしている。

この成果発表には、ポスター発表と論文発表がある。前者は審査員の前に発表が試され、後者は高校生らしい研究かである。生物部は、この両者で入賞を果たしている。

福祉部

福祉部の活動の中心は月一回の「さかど療護園」への訪問です。この訪問は平成元年の三月に「さかど療護園」から本校にかかってきた一本の電話がきっかけで

した。「在園者に園外への散歩をさせたいのだが、職員だけでは手が足りないのでは、誰かボランティアをしてくれる人はいないだろうか」といった内容だったそうです。それ以後、我が部の重要な活動の一部として大切に訪問させて頂いています。

イラスト部

部の名称はイラスト部ですが、イラストはもとより、水彩、油絵、日本画に至るまで幅広く活動しています。昨年度は第三十回読書感想画中央コンクールにおいて、二年生の田村きらさんが、優秀賞を受賞し、毎日新聞に写真入りで掲載されました。部にとっては久々の快挙であり、部員一人ひとりの励みにもなりました。

吹奏楽部

吹奏楽部は「一致響力」を motto に多くの人に感謝、感動を伝えられる演奏を目指しています。昨年度のコンクールでは西関東大会へ出場を果たすことができました。アンサンブルコンテストでは県大会出場、さいたま市教育長賞をいただきました。その他にも福祉施設、老人ホームでの慰問演奏など幅広く活動しています。

放送部

放送部は、お昼の校内放送や学校行事でのアナウンスなどを担当しています。また、学校行事の様子を撮影し、学校紹介映像の制作なども行っています。制作した映像は、学校説明会や三送会などで

放送しています。  
私たちはNHK杯放送コンテ  
トなどの放送コンテスト、そして  
放送講座などに参加することで  
人に伝える大切さを学び、感じ  
取りながら技術を磨いています。

英語部

We currently have 13 members  
in our English Club. The English  
Club is working hard and happily  
together to make this year's  
English play, 'The Little Match  
Girl' a success at the school festi-  
val. Also, we are planning an  
embassy visit and more cultural  
activities to foster global leader-  
ship skills.

書道部

書道部は、現在三年生四名、二  
年生六名、一年生六名で週二回活  
動しています。  
埼玉県硬筆展や書き初め展、  
本校文化祭、私学文化祭など各展  
覧会への出品・入賞を目標に日々  
技術向上を目指して取り組んで  
います。

本校文化祭では、毎年オープニ  
ングセレモニーにおいて書道パ  
フォーマンスを披露させていた  
だいています。三年生が中心と  
なって作り上げる大きな作品で  
す。今年も気持ちのこもった作品  
を披露できるよう精一杯練習し  
ます。是非ご覧ください。

カウンセリングルームより

以前テレビCMで放送さ  
れていたフレーズです。

「3+7=□」、この□に  
入る答えは何ですか？ 10で  
すね。それでは「□+□=」  
10、この□に入る答えは何  
ですか？考えてみてください  
い。」

：そうですね。答えは無限  
にあります。整数だけで考  
えると限りがありますが、  
小数や分数にまで広げて考  
えたら、答えは無限に存在  
します。

私達は一つしかない正解  
を求めることに慣れていま  
す。しかし、これからは「□  
+□=10」を考える世界な  
のです。いえ、「□+□=□」  
という答えの□も自分で導  
き出していく世界なのかも  
しれません。

私達がやりたいこと、叶  
えたいことを実現するため  
の答えは一つではありません  
ん。無限にあります。自分で  
考えてこそ実現できるので  
す。他の誰かが正解を持つ  
ているわけではありませ  
ん。例えば希望する学校へ

合格出来なかったとして  
も、夢にたどり着く選択肢  
やルートは他にもあるので  
はないでしょうか？

「答えは一つ」と思うと苦  
しいです。「夢を叶える方法  
は一つじゃない。他にも可  
能性があるかもしれない。」  
そう思えると意欲が湧いて  
きます。「答えは無限にあ  
り、それは自分で導き出せ  
る。」こんな考え方が自分を  
支えてくれるのではないで  
しょうか。

出来ない理由をあげるの  
ではなく、「どうすれば出来  
るか」たくさん考え、その中  
から最適な方法を選択して  
みる。それでうまくいかな  
かったら、次はこの方法！  
と行動する。

「□+□=□」の答えは無限  
です。一緒に考えてみませ  
んか？



事務室だより

皆様には、日ごる事務事  
業に対しまして多大なご理  
解とご協力をいただきにお  
りますことに心から感謝申  
し上げます。

本年度の事務室事業も、  
皆様のご理解、ご協力を  
いただき順調に推進されて  
おり心からお礼申し上げます。

これからは、我々職員が  
何をすべき時代なのかをよ  
く考え、その一歩として、  
職場や保護者・地域間との  
コミュニケーションを活発  
に行い、情報の共有化を図  
ることが、皆様の元気や職  
場の活気ある原動力につな  
がると思います。

ひとり一人がコミュニ  
ケーションを取りながら、  
やりがいのある職場環境に  
していきたいと思えます。

現在事務室では、皆様に今  
まで提出頂きました「就学  
支援金」「授業料軽減」「奨  
学のための給付金」につい  
て、国及び県に提出し、審  
査結果を待っている状態  
です。

事務長 師岡 昇

保護者の皆様は、この三  
点の給付金申請について、  
「きちんと提出したかを確  
認したい」「出し忘れてし  
まい、今から提出したい」  
もしくは「家計の急変が  
あった」などについてご連  
絡を頂ければ早急に対応致  
しますので事務室までお電  
話ください。

順調に処理が完了し、国  
と県から補助金交付されま  
したら、申請の方へは、来  
年の二月位、現在届け出の  
ある授業料振替口座に振込  
処理をさせて頂く予定で  
あります。届け出座の変更等あ  
りましたら、早めにお知ら  
せください。

本校での就学支援金及び  
父母負担軽減事業申請は生  
徒が学校で安心して勉学・  
部活動に励めるよう、この  
事業に、私学の中でも熱心  
に取り組んでいる学校で  
す。  
遠慮せず相談を積極的に  
お願いいたします。